

愛媛坊ちゃんラウンド

R元.9.28 in 愛媛大学教育学部



愛媛県では2回目となる「愛媛坊ちゃんマドンナラウンド」が、9月28日（土）に愛媛大学教育学部で開催されました。石川泰成先生、愛媛の先生方、教育委員会、学生など計24名が参加して、有意義な研究会になりました。主な内容は以下のとおりです。

1. 「体育の学習評価について」

まずはじめに、石川泰成先生から、新学習指導要領を踏まえた体育の学習評価について、観点ごとの評価のポイントや留意すべき事項について概説して頂きました。具体的な解説の読み取りや映像をもとにした評価の具体事例などわかりやすく説明して頂き、「思考力・判断力・表現力等」や「主体的に学習に取り組む態度」の評価の進め方について、理解を深めました。



2. グループディスカッション

続いて、「主体的・対話的で深い学びを引き出し、深い学びに導く体育の授業づくり」のテーマのもと、授業実践の映像や思考・判断に関する文献等を共有し、その後、グループに分かれて「思考・判断」を核にした体育の授業づくりについて意見交換しました。授業では「子供たちは何を基に思考・判断しているのか」「子供たちは何に向かって思考・判断しているのか」「子供たちはどんな思考・判断を働かせているのか」などの視点をもとに話し合いました。普段の授業実践での悩みや授業の難しさ、学びの質を高めるための発問や手立てなど、様々な意見が紹介されました。



3. さいごに

「まじめ愛媛」の名のとおり、まじめにラウンドを楽しみました。現職教諭、指導主事、体育専科、大学教員、学生など多様な立場からの参加があり、今後も“まじめで楽しい”輪を広げていきたいと思っております。（文責 愛媛大学 日野）

